

2018・3・20

お世話になっております。

本日7日目の報告をさせていただきます。

今回は、明日がバンクーバーのホテル滞在の為、今日ホストファミリーへのさよならパーティが行われました。

本日午前は、前半で英語の勉強を行いました。今回のカナダのホームステイで何を学んだか？何をしたか？何を食べたか？などを英語で発表している姿をみました。生徒の日記に「英語の先生方の活発なレッスンで、日本では考えられない位、発表している」と記されていたのですが、クラスをそっと覗きにいくと生徒は楽しそうに授業を受け、どんどん積極的に手を挙げて答えています。「ミスしても気にせずまたトライできた」これも生徒のコメントでした。また、フルーツバスケットなどのゲームを通して英語を楽しく学ぶ、という事で最後は生徒皆の笑い声がとても響いていて良い雰囲気に包まれていました。お昼が近くなってからでしたがホストファミリーに渡すサンキューカードの作成です。生徒皆がホームステイで体験した事を色々と思い出しながら、感謝の気持ちをそのカードいっぱいに書き込んでいました。折り紙や色ペンで鮮やかに仕上げたカード、ホストファミリーへの思いがギュッと詰まったオリジナルのカード。今晚最後の夜、ホストファミリーへ渡します。

ランチが始まる前に、ちょっとしたサプライズがありました。あるホストファミリーのマザーがチリワックのホッケーの関係者で、どうやら彼女が今回の冬季オリンピック用に多めに作られて余ったユニフォームをプレゼント！と言って、ユニフォームを生徒全員分準備してくれてくれたのです。スポンサーのマークや、カナダのホッケーチームのマークなどが入っていて、それを手にした生徒たちはとても喜んでいました。またコーディネーターのメリッサが油性ペンを沢山準備してくれて、このユニフォームに記念に、メッセージや名前を書きあう提案をしてくれました。生徒たちは一緒に過ごしてくれたバディや英語の先生、コーディネーターからサインやメッセージをもらい、とても嬉しそうでした。きっとこのユニフォームが帰国後の大事な思い出の一つになるのではと思います。

忙しいランチを終え、その後全員が集合してこれからの流れを確認し、いよいよさよならパーティの準備となりました。今年は、古橋さんを中心に準備になります。出発前からだいぶ練習をしてきたようで、必要なものなどもしっかり準備してくれてきたようです。

まずは全体の準備から行います。今回も生徒たちが進めていきますので、一人一人が考え協力していかなければいけません。生徒の数だけホストファミリーが来ますので43組プラス家族分の椅子を並べ、机、マイクのチェック、プロジェクターなどなど準備に大忙しでした。それが終わり今度は各パートの練習です。何度も何度もグループ内でお互いに確認しあって、15時、最後に一通り通してみました。

その後、16時、一度教室に戻って各クラス毎に終了授与式です。これはカナダのプログラムに参加し、最後までしっかりやりきったことを証明する1枚です。先生がひとりひとり名前をよび、「良くがんばりました」と声をかけ、生徒達は嬉しそうでした。短い期間でしたが、この貴重な証明書が、きっと大きな自信をあたえてくれることでしょう。

この後、明日の事、明後日の帰国の事などの連絡事項を伝え、ピザパーティに突入です。色々な種類のピザが並んでおり、バディや先生方と一緒に座って話しながらピザを頬張っていました。ある生徒が日記に「ここカナダまで来て何でも話せる親友を見つけると思わなかった」「仲間の絆がここまで深まるとも仲良くなれるとも思わなかった。この絆を大切にしたい」などと、生徒は思った以上に、バディやホストブラザーやシスターと良い関係が築かれたことの再認識をしているようでした。

そして18時を過ぎた頃からホストファミリーが続々と来ました。玄関で待つ案内する係、体育館でスタンバイしている生徒、と各パート毎に準備が整っていました。

18:30、さよならパーティのスタート。ほとんどのホストファミリーがそろい、ツアーコーディネーターのメリッサが挨拶した後に、いよいよ生徒たちの出番です。まずは、司会MCの河野君。マイクの声が途切れたりハプニングもありましたが、大きな声でしっかり司会進行をしてくれました。そして、次に大畠君の空手の披露。会場は静かになり、なり、会場の皆がそのパフォーマンスに見入っている様子が見られました。

そのあと、入り口のブースに準備された日本カルチャーの紹介です。お祭りの屋台が沢山あるようなそういったイメージで、ホストファミリー、特に子供たちが喜んでいました。

坂井さんが中心にすすめた習字コーナー。八下田さんを中心にすすめた折り紙コーナー。お菓子パーティコーナーをまとめてくれたのは岩崎さん。浴衣で茶道を披露したコーナーの代表が小堀さん。安生君たちがまとめた紙相撲。そして食品サンプルコーナーは鈴木君がまとめてくれました。その後、19時ちょっとすぎに、縁日で満喫したホストファミリーが席に着き、今度はスポットがまたステージにあてられました。生徒たちのイツ ショータイム！スタートです。全員がダンスや歌を披露しました。4人5人でのダンスや、10人以上で歌ったりと、その曲に合わせ生徒たちが楽しそうに歌い、踊り、そのハーモニーがホストファミリーにも伝わりました。上手なダンスに、見ている私まで思わず拍手！プレゼンテーションもそうでしたが、生徒たちが「出発ぎりぎりまで日本で練習してきたんですよ」という意味がよくわかりました。また、出発時に、飛行機に持ち込めるかどうか心配していたペンライトのような光がでる棒。何とかカナダまで持ってこれたと喜んでいた神林君と荻野君。途中会場を真っ暗にして、この光を使っのパフォーマンスに会場もとても盛り上がりました。最後まで生徒皆は、会場に来てくれた、お世話になったホストファミリーを楽しませてくれました。最後全員で歌を歌い、司会の河野君がしっかりとこのさよならパーティをしめてくれました。ホストファミリーからも盛大な拍手をもらい、「とってもよかったわよ！」「最高！」「来てよかった」という言葉をかけてもらっていました。私自身もと

でも楽しませてもらい、また生徒の頑張りがしっかりと見れたさよならパーティとなりました。

今日は、各自生徒がホストファミリー宅で過ごす最後の晩になります。

きっと、さよならパーティの話で盛り上がることでしょう。そして、ホストファミリーは生徒が真心こめて作ったサンキューカードを手にするでしょう。

「感謝」今日は、この言葉が多く使われました。

生徒たちのこのカナダ研修も残りあとわずかです。この研修を通してきっと今まで気付かなかった色々な思い、そしてお世話になった人への感謝の気持ち。

色々な事を学んだと思います。そして大きな自信になったことでしょう。

明日は、ホストファミリーにお別れをして、学校で英語の授業、カーリング、バンクーバーで観光、ディナー、ホテルでの宿泊と明日も忙しくなりそうです。しっかりと忘れ物がないよう、確認しながら最後の授業、バンクーバー市内観光など、楽しませたいと思います。

長くなりましたが、以上が本日の報告となります。

アイエスエイ 添乗員 原田











